



スポーツデイ

新たな学校行事の幕開け

校長 手代木 英明

高学年スポーツデイは、九月二十六日（土）に降雨のため中断、残りのプログラムを二十八日（月）に実施しました。今年度のスポーツデイは、コロナウィルス対策をしながら、準備期間を短くして、大人数で集まる練習は最小限にとどめてきました。

これまでの運動会とスポーツデイは、種目や演目が似ていますが、つくりあげた過程が全く違います。運動会は「開閉会式、準備運動、徒競走、団体競技、表現、リレー、応援合戦」と、集団行動や儀式的要素が多いものでした。完成度を高めるためには、準備と指導は、どうしても教師主導型になりがちでした。今回のスポーツデイでは、目標設定、種目・演目の決定、準備・運営などは、子供主体で行ってききました。話し合いには、時間がかかりましたが、練習・準備は、短時間でも内容の濃いものでした。子供たち一人一人に「自分たちでつくり

あげる。」という気持ちが高まり、リーダーシップとフォロウィーシップが自然に生まれ、5・6年が一つのチームになりました。

開会式前に自然に始まった応援合戦は、大いに盛り上がりましたが、時間になると素早く待機線に集合できました。入場行進の合図までの時間がたっぷりできましたが、全員無言で待つ姿は、高学年らしい立派な態度でした。開会式の「児童代表の言葉」、「選手宣誓」の緊張感と百メートル走、走り高跳びの競技の緊迫感と応援の声が校庭に響きました。雨が降ってきてしまいました・・・

100m走 (秒)		
1	6-2 S.D	14.9
2	6-2 N.K	15.0
3	6-2 K.R	15.4

50mハードル走 (秒)		
1	6-2 T.K	9.3
2	6-1 H.J	9.7
3	6-1 P.T	9.8

走り高跳び (cm)		
1	6-2 O.K	115
2	6-2 M.V	110
3	6-2 W.V	105
	5-2 H.C	105

走り幅跳び (cm)		
1	6-1 M.R	397
2	6-2 I.R	350
3	6-1 T.K	340
	5-1 K.E	340

仕切り直しの月曜日は、快晴に恵まれ最高の競技と演技ができました。中でも個人種目は選手一人一人の競技に会場全体の視線が集まり、大きな声援がありました。選手のプレッシャーに負けずにチャレンジする姿に心を打たれました。今回のスポーツデイでは、新学習指導要領が目指している「主体的で、対話的で、深い学び」が達成できているところを披露することができました。次は、低学年です。高学年の子供たちが応援団の指導や準備などのサポートに入ります。こうして神小は、上級生が下級生を導き、全校児童が一つの家族のようになることを目指しています。



上: 赤組応援団
すすんで応援しました。
左上: 走り高跳び
左下: 全員競技
おじゃま虫玉入れ

十月の生活指導

落ち着いて学習しよう

秋は、読書の秋、スポーツの秋などと言われるように、過ごしやすい気候の中で、集中しているいろいろなことに取り組める時期です。

学校の中で、「落ち着いて」というと次のような内容があげられます。

- ・人の話を静かに、集中して聞く。
- ・めあてに沿って、学習に進んで取り組む。
- ・廊下を静かに歩く。
- ・みんなで使うものを大切に扱う。
- ・準備、片付けまで責任をもって行う。

休み時間の間に、トイレ・水分補給・手洗い・うがいをすませておく、などです。これらを意識することで、本来の力が発揮され、さらに伸ばしていくことにつながります。

また、これらのことが整うと、周りの人も気持ちよく学習できるようになり、協働的な学習へと深まります。

自分のためばかりではなく、周りの人に対する影響を考えて行動し、よりよい習慣が身に付くように、今後も引き続き指導してまいります。

(生活指導部)

